



### ホッケー 少年男女 松前町ホッケー公園 (鶴吉 118 番地 1)

1試合  
約1時間  
20分

月日	時間	試合内容
10/1 (日)	10時20分～	女子
	11時55分～	女子
	13時30分～	男子
	15時5分～	男子
10/2 (月)	8時45分～	女子
	10時20分～	女子
	11時55分～	女子
	13時30分～	女子
10/3 (火)	15時5分～	男子
	8時45分～	男子
	10時20分～	男子
	11時55分～	男子
10/4 (水)	13時30分～	女子
	15時5分～	女子
	8時45分～	男子
	10時20分～	男子
10/5 (木)	11時55分～	女子 3位決定戦
	13時30分～	女子 決勝
	8時45分～	男子 3位決定戦
10時20分～	男子 決勝	

### 国体 町開催競技 競技時間のお知らせ

本県の出場選手などは、10月号の  
広報まさきでお知らせします。



### ライフル 射撃 (CP) 成年男子 愛媛県警察学校 (西古泉 646 番地)

1試合  
1時間30分(2日)  
1時間(3・4日)

月日	時間	試合内容
10/2 (月)	9時～	第1射群
	10時50分～	CP60M (精密 30発)
	13時10分～	第2射群
	15時～	第3射群
10/3 (火)	9時～	第4射群
	10時20分～	CP60M (速射 30発)
	12時10分～	第1射群
	13時30分～	第2射群
10/4 (水)	15時30分～	CP60M ファイナル
	9時～	第1射群
	10時20分～	第2射群
10/4 (水)	12時～	第3射群
	13時20分～	第4射群



### ボクシング 全種別 松前公園体育館 (筒井 638 番地)

1試合  
(成年)  
3分3ラウンド  
(少年)  
2分3ラウンド

月日	時間	試合内容
10/5 (木)	11時30分～	成年女子 1回戦
10/6 (金)	11時～	少年男子
		成年男子
10/7 (土)	11時～	成年女子 準々決勝
		少年男子
10/8 (日)	11時～	成年女子 準決勝
		少年男子
10/9 (月・祝)	11時～	成年女子 決勝
		少年男子



### Check

国体の情報は、町のえひめ国体HPとFacebookで発信中。  
「えひめ国体 松前町」で検索するか、左のQRコードをチェック。



### えがお 愛顔つなぐえひめ国体2カ月前記念 松前町炬火・競技体験イベント開催

「松前町炬火・競技体験イベント」は7月30日、松前公園体育館で行われ、多くの親子連れが訪れました。  
イベントでは、松前町の炬火(オリンピックで言う聖火)名を発表した後、町内の小中学生が採火し、炬火受皿に火がともされました。その他、国体の愛媛代表選手と本町開催競技体験を行うなど、参加者みんなで国体に向け機運を高めていました。



町民の手でともされた火は…  
9月30日の総合開会式で

### 炬火集火式に 町代表で出演

渡部四郎さん=北川原=



● Profile 第22回世界マスターズ陸上競技選手権大会日本代表。400mリレー第1走者として、世界一に貢献。

炬火集火式は、県内20市町の炬火の一つにする式典です。この炬火は、国体・大会の期間中、シンボルとして燃え続けます。本町代表に決まった渡部さんは「出演は名誉なことなので、恥ずかしくないようパフォーマンスをしたいです。選手、コーチや天皇皇后両陛下へのおもてなしも頑張りたい」と話していました。



### 炬火名決定

松前町の炬火  
松前を照らす義農の炎  
山本明さん=上高柳=



作兵衛翁が今なお松前町を照らしている「炎」を前面に打ち出し、松前を盛り上げていきたいという思いで命名しました。選手の皆さんには、義農精神を持って前に進み、勝ち進んでほしいと願っています。

### 関西ティーイーケイが 国体・大会 PR 用の協賛品贈呈



関西ティーイーケイ株式会社(二神謙司取締役愛媛事業所長)は8月10日、えひめ国体・えひめ大会協賛品として、のぼり旗235セット、うちわ2,000本を町実行委員会へ贈呈しました。



着々と進んでいます

## おもてなし

松前町に来られる皆さんが気持ちよく過ごすことができるよう、子どもから大人までが「おもてなし」の準備を着々と進めています。



松前校区老人クラブ・松前ライオンズクラブ



花いっぱい運動ボランティア・エミフル

国体期間中に競技会場を花で彩る「花いっぱい運動」の一環として、老人クラブとライオンズクラブは国道56号線沿いで(写真④)、花ボランティアとエミフルはビオトープで(写真⑤)定植作業を行いました。



町立保育所園児・小中学生

松前町に来る選手たちを歓迎・応援するため、保育所園児が歓迎パネルを、小中学生が応援のぼり旗を手作りしてくれました。